



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス
コード番号 8415 URL <http://www.kyfg.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ企画部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

(氏名) 片山 博臣
(氏名) 鈴木 教秀
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 073-426-7133

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	19,883	△6.7	5,651	12.5	3,978	24.0
25年3月期第1四半期	21,310	△5.6	5,023	6.3	3,207	△11.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △927百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 4,936百万円 (△52.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.45	4.76
25年3月期第1四半期	4.35	3.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,986,181	187,273	4.6
25年3月期	3,927,469	190,604	4.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 184,862百万円 25年3月期 188,185百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当状況を記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注2) 当社は、監督官庁の認可等を前提に、平成25年10月1日を効力発生日として、当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とする合併契約を締結いたしましたので、平成26年3月期(予想)配当については、株式会社紀陽銀行による予想配当額を記載しております。
なお、当該合併では、当社株式10株につき紀陽銀行株式1株を割り当てることを予定しておりますので、1株当たりの配当金額は30円を予定しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,200	△6.4	6,100	△16.8	3,900	△3.6	5.34
通期	75,200	△13.8	11,500	△57.8	8,200	△54.8	112.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、監督官庁の認可等を前提に、平成25年10月1日を効力発生日として、当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とする合併契約を締結いたしましたので、平成26年3月期の通期連結業績予想については、株式会社紀陽銀行の連結業績予想を記載しております。
なお、通期の1株当たり当期純利益の予想にあたっては、当該合併において当社株式10株につき紀陽銀行株式1株を割り当てる予定としていることを勘案しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	745,017,053 株	25年3月期	745,017,053 株
② 期末自己株式数	14,345,285 株	25年3月期	14,650,748 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	730,560,380 株	25年3月期1Q	738,133,852 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(種類株式の配当の状況)

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第4回第一種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	11 00	11 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。
2. 26年3月期(予想)については、当社が自己株式として全株式の取得を予定しているため、予想額を記載しておりません。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※平成26年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績につきましては、その他業務収益や貸倒引当金戻入益が減少したことなどにより、経常収益は、前年同期比14億27百万円減少の198億83百万円となりました。

経常費用につきましては、資金調達費用や有価証券の減損処理額が減少したことなどにより、前年同期比20億56百万円減少の142億31百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は、前年同期比6億28百万円増加の56億51百万円、連結四半期純利益につきましては、前年同期比7億71百万円増加の39億78百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態につきましては、総資産が3兆9,861億円、純資産が1,872億円となりました。

貸出金につきましては、前連結会計年度末比563億円減少の2兆5,196億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比524億円増加の3兆6,330億円となりました。

また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比1,489億円増加の1兆1,335億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
現金預け金	188,043	199,495
コールローン及び買入手形	110,000	60,591
買入金銭債権	941	1,002
商品有価証券	1,415	1,664
有価証券	984,649	1,133,563
貸出金	2,575,933	2,519,609
外国為替	2,103	1,990
その他資産	28,738	30,454
有形固定資産	33,045	32,857
無形固定資産	10,940	10,679
繰延税金資産	5,592	7,403
支払承諾見返	13,467	13,144
貸倒引当金	△27,401	△26,274
資産の部合計	3,927,469	3,986,181
負債の部		
預金	3,532,474	3,591,584
譲渡性預金	48,042	41,417
債券貸借取引受入担保金	73,918	86,475
借入金	24,891	24,792
外国為替	11	19
社債	10,000	10,000
その他負債	32,900	30,354
退職給付引当金	31	31
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	732	683
偶発損失引当金	362	372
支払承諾	13,467	13,144
負債の部合計	3,736,865	3,798,907
純資産の部		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	47,947	47,958
利益剰余金	61,165	62,700
自己株式	△1,657	△1,622
株主資本合計	165,805	167,386
その他有価証券評価差額金	22,514	17,142
繰延ヘッジ損益	△134	333
その他の包括利益累計額合計	22,379	17,476
少数株主持分	2,418	2,410
純資産の部合計	190,604	187,273
負債及び純資産の部合計	3,927,469	3,986,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	21,310	19,883
資金運用収益	14,025	14,175
(うち貸出金利息)	10,960	10,399
(うち有価証券利息配当金)	2,966	3,665
役員取引等収益	2,852	2,944
その他業務収益	2,138	1,185
その他経常収益	2,294	1,577
経常費用	16,287	14,231
資金調達費用	1,506	1,130
(うち預金利息)	1,192	840
役員取引等費用	999	992
その他業務費用	1,476	853
営業経費	10,690	10,610
その他経常費用	1,614	644
経常利益	5,023	5,651
特別利益	1	—
固定資産処分益	1	—
特別損失	7	1
固定資産処分損	7	1
税金等調整前四半期純利益	5,018	5,650
法人税、住民税及び事業税	196	994
法人税等調整額	1,595	685
法人税等合計	1,791	1,680
少数株主損益調整前四半期純利益	3,226	3,970
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19	△8
四半期純利益	3,207	3,978

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,226	3,970
その他の包括利益	1,710	△4,897
その他有価証券評価差額金	1,583	△5,365
繰延ヘッジ損益	126	468
四半期包括利益	4,936	△927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,918	△924
少数株主に係る四半期包括利益	18	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成26年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【目次】

1. 損益の状況	
(1) 紀陽ホールディングス連結	1
(2) 紀陽銀行単体	2
2. 預金、貸出金の残高【紀陽銀行単体】	3
3. 預かり資産（投資信託・公共債・個人年金保険等）残高【紀陽銀行単体】	3
4. 自己資本比率【紀陽ホールディングス連結】【紀陽銀行単体】	3
5. 時価のある有価証券の評価差額【紀陽銀行単体】	4
6. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【紀陽銀行単体】	4

※記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 紀陽ホールディングス連結

(単位：百万円)

	平成26年3月期 第1四半期 (a)	平成25年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成26年3月期 業績予想値
1 連結粗利益	15,329	15,034	295	
2 資金利益	13,045	12,518	527	
3 役員取引等利益	1,952	1,853	99	
4 その他業務利益	332	662	△330	
5 (うち債券関係損益)	(167)	(411)	(△244)	
6 営業経費(△)	10,610	10,690	△80	
7 一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—	
8 株式等関係損益	111	△889	1,000	
9 不良債権処理額(△)	537	640	△103	
10 うち貸出金償却(△)	456	554	△98	
11 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—	
12 貸倒引当金戻入益	676	1,398	△722	
13 償却債権取立益	262	489	△227	
14 経常利益	5,651	5,023	628	6,100(第2四半期連結累計期間) 11,500(通期)
15 特別損益	△1	△5	4	
16 税金等調整前四半期純利益	5,650	5,018	632	
17 法人税等合計(△)	1,680	1,791	△111	
18 法人税、住民税及び事業税(△)	994	196	798	
19 法人税等調整額(△)	685	1,595	△910	
20 少数株主損益調整前四半期純利益	3,970	3,226	744	
21 少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8	19	△27	
22 四半期(中間・当期)純利益	3,978	3,207	771	3,900(第2四半期連結累計期間) 8,200(通期)
23 与信コスト総額(△)	△352	△1,301	949	

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. (△)は損失項目です。

当第1四半期の紀陽ホールディングス連結経営成績は、資金利益や役員取引等利益が増加したことや、有価証券関係損益が改善したことなどにより、経常利益が前年同期比6億円増加の56億円、四半期純利益が前年同期比7億円増加の39億円となりました。

(2) 紀陽銀行単体

(単位：百万円)

平成26年3月期
業績予想値

	平成26年3月期 第1四半期 (a)	平成25年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)
1 業 務 粗 利 益	14,365	14,121	244
2 資 金 利 益	13,002	12,495	507
3 役 務 取 引 等 利 益	1,179	1,107	72
4 そ の 他 業 務 利 益	182	517	△335
5 (うち債券関係損益)	(167)	(411)	(△244)
6 経費(除く臨時処理分)(△)	9,786	9,986	△200
7 一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—
8 業 務 純 益	4,579	4,134	445
9 うちコア業務純益	4,412	3,722	690
10 臨 時 損 益	1,139	874	265
11 株 式 等 関 係 損 益	111	△889	1,000
12 うち株式等償却(△)	—	889	△889
13 不 良 債 権 処 理 額 (△)	381	363	18
14 うち貸出金償却(△)	300	278	22
15 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—
16 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	719	1,297	△578
17 償 却 債 権 取 立 益	150	272	△122
18 そ の 他	537	558	△21
19 経 常 利 益	5,718	5,008	710
20 特 別 損 益	△0	△5	5
21 税 引 前 四 半 期 純 利 益	5,717	5,003	714
22 法 人 税 等 合 計 (△)	1,501	1,570	△69
23 法人税、住民税及び事業税(△)	862	17	845
24 法人税等調整額(△)	639	1,553	△914
25 四 半 期 (中 間 ・ 当 期) 純 利 益	4,215	3,432	783
26 与 信 コ ス ト 総 額 (△)	△440	△1,260	820

6,600(第2四半期累計期間)
12,500(通期)4,600(第2四半期累計期間)
9,800(通期)

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
3. (△)は損失項目です。

当第1四半期の紀陽銀行単体ベースの経営成績は、資金利益や役務取引等利益が増加したことや、経費が減少したことなどから、コア業務純益は前年同期比6億円増加の44億円となりました。
經常利益については、上記に加え、与信コスト総額が増加となる一方、有価証券関係損益が改善したことなどにより、前年同期比7億円増加の57億円となりました。
また、四半期純利益については、前年同期比7億円増加の42億円となりました。

2. 預金、貸出金の残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(単位：億円)
		平成25年6月末	平成24年6月末	前年同期末比	平成25年3月末
1	預金・譲渡性預金(末残)	36,520	35,584	936	35,991
2	うち預金	36,036	35,150	886	35,400
3	うち個人預金	27,071	26,786	285	26,587
4	貸出金(末残)	25,272	24,874	398	25,828
5	うち消費者ローン	8,874	8,971	△97	8,884
6	うち住宅ローン	7,658	7,696	△38	7,652

3. 預かり資産(投資信託・公共債・個人年金保険等)残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(単位：億円)
		平成25年6月末	平成24年6月末	前年同期末比	平成25年3月末
1	投資信託残高	1,621	1,459	162	1,687
2	公共債残高	388	482	△94	399
3	投資信託・公共債合計残高	2,010	1,941	69	2,086
4	個人年金保険等	2,857	2,601	256	2,812

(注) 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

4. 自己資本比率

(紀陽ホールディングス連結、第二基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成25年6月末(A)	平成25年3月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	11.51%	11.14%	0.37%
2	Tier1比率	9.24%	8.84%	0.40%
3	自己資本額	2,060	2,028	32
4	うちTier1	1,653	1,609	44
5	リスクアセット等	17,898	18,200	△302
6	総所要自己資本額	715	728	△13

(紀陽銀行単体、国内基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成25年6月末(A)	平成25年3月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	10.76%	10.42%	0.34%
2	Tier1比率	8.56%	8.18%	0.38%
3	自己資本額	1,916	1,885	31
4	うちTier1	1,523	1,481	42
5	リスクアセット等	17,792	18,094	△302
6	総所要自己資本額	711	723	△12

5. 時価のある有価証券の評価差額

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成 25 年 6 月末			平成 25 年 3 月末		
	評価差額	評価差額		評価差額	評価差額	
		うち益	うち損		うち益	うち損
1 満期保有目的 (注3)	△10	0	11	△12	1	14
2 その他有価証券	248	287	39	329	365	35
3 株式	95	104	9	85	99	13
4 債券	66	74	8	127	127	0
5 その他	44	65	21	71	93	21
6 (注4)	42	42	—	44	44	—
7 総合計	237	287	50	317	367	50

(注1) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

(注2) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

(注3) 平成25年3月末において、満期保有目的として保有する変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。

(注4) 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

6. 金融再生法ベースの категорияによる開示

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成 25 年 6 月末	平成 25 年 3 月末
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	213	200
2 危険債権	640	649
3 要管理債権	72	66
4 小計	926	917
5 (合計債権残高に占める比率)	(3.62%)	(3.50%)
6 正常債権	24,658	25,226
7 合計	25,585	26,143

以 上